

紫波ネット

SHIWA NET

発行 / 岩手県紫波町 編集 / 企画課

目次 CONTENTS

今号のトピックス1

平成10年度の決算報告 2

教育振興だより 7

産直発・旬を味わう

秋を味わう・紫波を味わう豪華ご飯
秋満載の黒豚炊き込みご飯

岩手中央農協紫波地域女性部の皆さんのアイデアによる黒豚や栗、シメジなどを入れた炊き込みご飯です。見た目も鮮やかでうけること間違いなし。

1999
No.537 10

「我が町を知る」「我が近隣を知る」「我が将来を知る」ための総合広報

産直に栗が並びはじめ、まさに秋本番。今回はその栗と、町特産の黒豚を使った炊き込みご飯です。ゆでた枝豆を使えば、見た目のアクセントになるだけでなく華やかな一品になります。

①うるち米ともち米は洗ってざるに。黒豚肉は酒としょう油を振りかけておきます。皮をむいた栗は大きめの場合、2つに割っておきます。

②肉は調味液(A)で煮て、肉だけ使います。

③ニンジン、ゴボウはさがぎに、シメジは2つに割って調味液(B)で煮ます。

④米を炊飯器に入れたら、材料をすべて入れて、⑤の煮汁に通常分量の水を入れて炊き込みます。

⑤枝豆はゆでておいて盛りつけのときに乗せます。

横の漬け物はキュウリのカラシ漬けとミョウガの甘酢漬け。どちらもご飯によく合います。

秋満載の黒豚炊き込みご飯(4人前材料)

- ・もち米1/5カップ
- ・うるち米3カップ
- ・黒豚バラ肉のあらびき ...100g
- ・ニンジン・ゴボウ各30g
- ・シメジ・栗60g
- ・枝豆少々
- ・調味液(A)=しょう油・酒小さじ2
- ・調味液(B)=しょう油・酒大さじ1 1/2、塩少々

少子高齢化社会対策へ重点配分

乳幼児の医療費無料化を2歳拡大

介護サービスの24時間態勢を実現

平成10年度一般会計で

町が実施した事業・サービス

平成10年度
決算報告

今号のトピックス

それぞれの家庭で計画的にお金を使うための工夫をしているように、町でも限りある財源の中で、皆さんの生活環境の整備や福祉の充実のため、どのようにして最大の効果を上げるか、町民の皆さんの声を聴きながら、積極的に取り組んできました。ここでは、九月定例議会で承認された平成10年度の締めくくりである決算、町が取り組んだ主な事業やサービスを紹介します。

福祉・医療関連

少子高齢化対策として医療・福祉・介護サービスの充実など、特に福祉面を積極的に支援する特徴的なものとなっています。若い人たちが安心して子育てできる環境、働き盛りの人やお年寄りが豊かな気持ちで暮らせる環境づくりに取り組みました。

七時までの延長保育でとても安心

橋本香子さん（南日詰、佐比内小学校教諭）

「五時が退

勤時間なので

すがなかなか

時間どおりに

帰られませ

ん。どうして

も遅くなるの

で、七時まで

の延長保育を

お願いしてい

ます。おかげで安心して仕事をするこ

ができてとても助かります。保育所では、

保母さんやほかの子どもたちと遊びなが

ら待っているの、子どもも安心して私

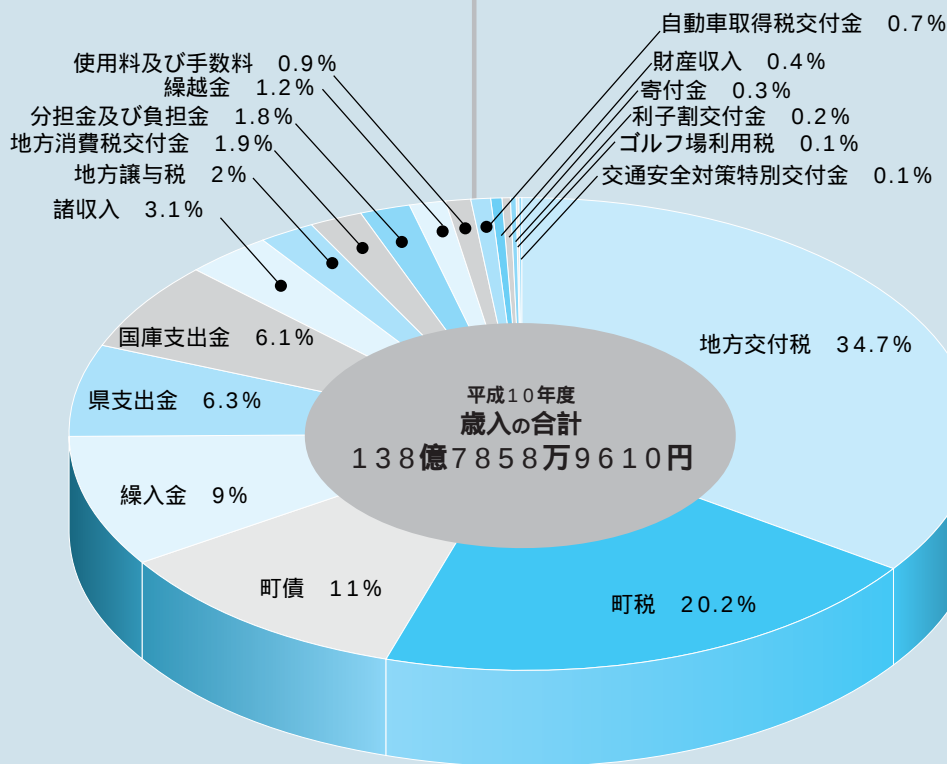
の帰りを待っていることと思います」



お迎えに来た橋本さんと薫平くん（中央保育所）

●保育料の最高限度額は五万五〇〇〇円、保育所に同時入所の場合第二子は半額、第三子は無料となる保育料の軽減を行っています。また保育所では午後七時までの延長保育をしています。利用者が多く中央保育所と古館保育所を合わせると五十人近くになります。そのほか放課後の児童を預かる子どもの家の維持管理など児童福祉に四億九八八万九千円。

平成10年度の歳入の内訳と合計



細田さんと明くん（6カ月）



子どもの医療費無料化に感謝 細田和子さん（稲藤）

「去年は保育所に通っている長女が自家中毒にかかったのですが、四歳直前だったので後からお金が戻ってきました。思ってもいなかったのので少し得したような気持ちになりました。子どもが小さ

●視覚障害者など外出に不自由な人たちにガイドヘルパーを派遣し、外出のお手伝いをするガイドヘルプサービス事業や重度身

障害者の人のための福祉タクシー事業、自立や介護の軽減のための住宅改築の経費の助成など、心身障害者福祉に九四四〇万円。

●乳幼児の医療費給付は十年八月から対象を二歳未満から四歳未満に引き上げ、さらに所得制限なしの無料化を実施し、二二九二万円。また重度心身障害者医療費給付の対象を身障三級者に拡大し、一億一九六四万円。福祉医療給付の総額は三億七二六三万円。

いうちは、よく病院にかかります。うちでは下の子もいますので、医療費の無料化は本当に助かります」

菅川さん（吉水）はこの道21年というベテランのヘルパーさん



家族から喜ばれるのが励み

菅川和子さん（吉水、社会福祉協議会副主任ホムヘルパー）

「現在十五人でお世話をしています。登録している人は約百二十人、入退院など動きがある

四時間態勢なので体力的にも確かにたいへんな仕事で、寒い朝や夜間などつらい時もあります。でも皆とても待っていてくれるのでやりがいのある仕事です。またお年寄りや介護の家族から喜ばれたり感謝の言葉をかけていただけることが何よりの励みになっています」

●在宅の寝たきり老人などの介護者の介護に関する総合的な相談に応じたり、二十四時間態勢で在宅介護の支援をする在宅支援センターの事業やデイサービスなど老人福祉に五億八三二二万円。また、十年度は介護手当を一カ月六〇〇〇円から七〇〇〇円に増額になり、延べ八十人に総額四九万円が支払われました。

除雪作業に三三一六万円を投入。道路や環境の整備にも力を入れています

道路の維持管理にも力を入れてほしい

高橋正さん（日語）

「自宅前の日語水分線の清掃や草刈、冬には融雪剤をまくなどの奉仕作業を三十年以上やっています。坂がきついで、事故が起らないようにと考え続けています。やはり道路は作るだけでなく、維持管理も大切だと思います」

●道路維持工事のために使ったお金は一八億八二一六万円。

●道路新設改良希望ヶ丘線三八七八万円、黒

沢矢柄線三八五四万円、西部開拓線

四四五二万円、牡丹野線一億三八九

四万円、上野沢丸盛線二九三三万円

●向畑柳田線新生橋新設工事一九

二九万円

●除雪作業三三一六万円

なお町内建設会社への発注率は七

一・九パーセントです。

生活環境関連

もつとりサイクルでごみ減量化を

菱川美子さん（日語）

「町全体の取り組みとなれば」と菱川さん

「八月からマイバックキャンペーン（買い物袋持参運動）のモニターをしています。九月までの二カ月間で、袋はいりません」と断ったレジ袋の枚数は四十枚。最初拒否するのが店の人に悪いような気がしたり、いつも持ち歩かなければならぬなど難しい点もあると感じました。もちろん家族の協力も大切です。昔は全て自分の家でごみの処理をしなければならませんでした。今は指定の袋に入れて出

すだけで、町が処理してくれる。本当にありがたいことです。以前清掃センターを見学したことがあります。その量と分別

の手間は本当にたいへんなものでした。今回モニターをすることで

ごみの減量化を考える

ようになりました。一

度意識して減量化に取

り組んだ人は決して後

戻りはしないと思いま

す。これが町全体の取

り組みとなれば効果も

出てくると思います」

「子どもたちには安全なものを」と久慈さん



資源循環に期待しています

久慈明美さん（日語）

「ごみの問題は本当に深刻だと思っています。毎日家庭から出る生ごみの多さに、週二回の回収日が待ち遠しいときがあります。ときには容器に入りきらず、ボー

昨年は道路愛護者として建設大臣表彰も受けている高橋さん



ります。夏には衛生

上の問題もあり、回

収回数を増やしてほしいと感じたときも

ありました。八月号の紫波ネットに掲載

された資源循環にはとても興味を持ちま

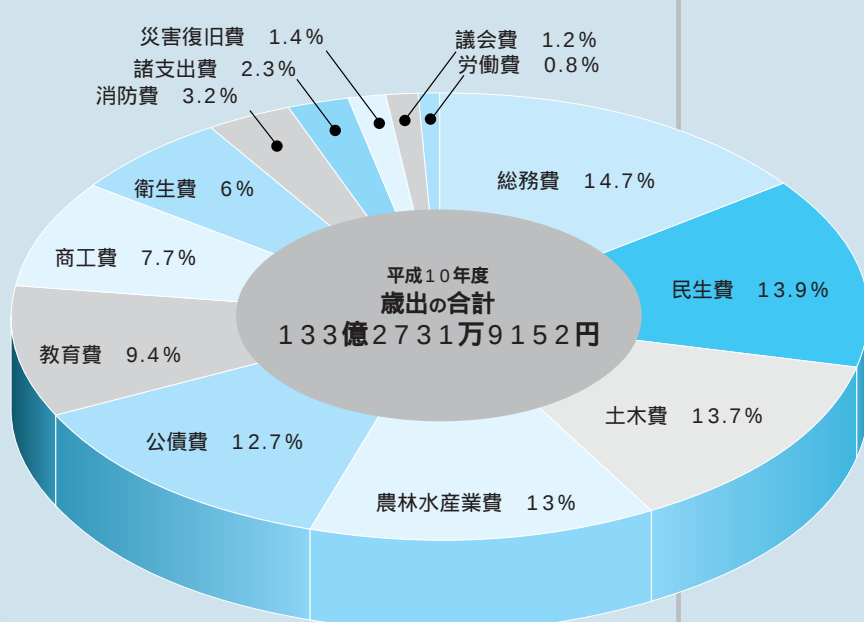
した。家庭やスーパから出る生ごみと

家畜のふん尿でたい肥を作り、それを使

って農作物を育てる——安全が重要な時

代になってきたと思いますので、この計

画の実現が待ち遠しいです」



平成10年度の歳出の内訳と合計

●町では、ごみ処理のために三億五九四五万円というたくさんのお金をかけています。十月一日からは資源ごみ袋の使用が本格的になりましたが、リサイクルとごみの分別を皆さんと行政が一体となって進め、ごみの減量化、清掃費の削減に努めたいものです。ご協力をお願いします。

農業生産組織の施設・機械に補助金。野菜・果樹・苗や支柱にも助成

飼料米で甘みのある肉牛を

畠山正宏さん（片寄、しわ牛研究会会長）

「現在我が家では約百三十頭の牛を肥育していますが、町内の肥育農家では働き手がいなくなったり、儲けがないなどの理由で、やめるところが増えてきました。そんな中、しわ牛研究会のメンバー十人で、地元の米を混ぜた飼料を与え、より安全で安心な肉を提供したいと取り組んでいます。飼料米の価格や保管など多くの問題もありますが、肉の味は甘みや風味も良いと評判です。今後、飼料米の作付けが転作田の活用につながれば良いのですが……」

- 国営かんがい排水事業（山王海ダム）負担金一億七〇七六万円
- 水稲共同育苗施設一棟（農事組合法人西長岡高度農業生産組合に四〇一五万円）
- 種子用コンバイン四条刈三台（岩手中央農業協同組合に九六〇万円）
- 汎用コンバイン刈幅二二〇センチメートル各一台（稲藤第一地区転作営農組合と平沢上通り転作営農組合に合わせて二二八二万円）
- 簡易ビニールハウス十九棟、プレハブ予冷库二十四基（岩手紫波町園芸特産生産組合に一六五五万円）
- ぶどう雨除施設、ぶどう棚と苗植栽整備（岩手紫波町果樹生産組合に六八八万円）
- 温風暖房機八台、球根掘取機一台、フ



「牛舎の仕事は奥さんと二人三脚」と畠山さん

- ラワーバインダー一台（岩手紫波町花き生産組合に二七五万円）
- 野菜支柱五四四一セット、自走防除機四台（二二二八万円）
- 果樹新改植苗三三二一本（三九〇万円）
- 降霜災害復旧対策事業一三九八万円
- 総合交流ターミナル施設一棟（一億六八四二万円）
- ふれあい広場（四一九二万円）
- 紫波勤労者総合スポーツ施設建築・機械設備・電気設備工事（十年度支出分七五二〇万円）
- 中小企業振興資金金利負担軽減及び保証料補助金（二二九万円）
- 温泉保養公園研修産業館新築工事（八億一九二九万円）
- 中小企業振興資金貸付預託金（二五〇〇万円）
- 商工業振興対策事業補助金（一六〇〇万円）
- 商店街交流づくり事業補助金五〇〇万円

育てよう元気な「しわっ子」。上平沢小体育館や古館小プールを整備

広くて気持ちがいい体育館

青山美里さん（上平沢小学校六年）

「新しい体育館はきれいで気持ちがいいです。広くて走っても安全なので、みんな喜んでいます」

また上平沢小学校では体育館の新築を機に土曜日に「みどりの森タイム」という時間ができました。これは大きな体育館いっぱい元気な声を響かせようというもので、朗読や音楽をとおして大きな声を出すことにより表現力を養おうというものです。また紫波三中の生徒が放課後バレーボールやバスケットボールのクラブで利用したり、剣道、卓球などスポーツ少年団の練習で使うなど利用も活発に行われています。高橋棟雄（たかねお）上平沢小学校校長は「新しい体育館で子どもたちも

伸び伸びと運動できるようになり感謝しています。また利用の幅も広がり地域とのつながりも一層強くなることと喜んでます」と述べ、今後の活用が期待されます。

- 上平沢小学校屋内運動場建設（一億七二三三万円）
- 古館小学校プールの改修（五〇四万円）
- 給食センターの連続揚物機（四九八万円）
- 自治公民館整備事業（校町北通公民館、野沢公民館、下町公民館、佐比内五区ふれあい公民館、川前公民館）（四二五万円）
- 町民劇場（九〇万円）
- 胡堂文庫図書購入（一七三万円）
- 陸上競技場三種公認更新整備工事二二六〇万円



下級生のお世話をしたり一緒に遊んだ後は「もう授業時間だから帰ろう」とやさしく話しかける美里さん（右）



将来の公共用地に11.17ha・29億4,175万円

町には、特別な事業を進めるための5つの特別会計と水道事業の地方公営企業会計があります。これら5つの特別会計の10年度の収支は、歳入総額110億768万円、歳出総額109億1,924万円。会計ごとの黒字分は、それぞれ平成11年度に繰り越されています。なお日詰西地区土地取得事業は10年度から新しく特別会計になった

事業です。

水道事業会計は、給水収益が伸びたにもかかわらず、収益的収入及び支出では特別損失の計上（過年度の減価償却費968万円）により479万円の損失となりました。また、資本的収入及び支出では不足する額1億231万円は過年度の留保資金などを充てました。

会計名	歳入額	歳出額	主な実績
日詰西地区土地取得事業	29億4,832万円	29億4,175万円	紫波中央駅前二丁目地内に11.17haの用地を取得し、その一部は紫波中央駅前駐車場や紫波勤労者総合スポーツ施設の用地として利用され始めています
紫波公共下水道事業	14億9,015万円	14億6,526万円	普及率37.6%、管きょ整備2,469.3m、マンホール68カ所、ポンプ製作
農業集落排水事業	14億2,377万円	13億9,983万円	管路施設整備（大巻地区911m、長岡南地区8,468.9m）処理施設整備（大巻地区）
国民健康保険事業	20億6,964万円	20億3,746万円	加入状況4,241世帯9,720人、保険給付の総額は14億5,232万円で全体の71.2%を占める。1人当たりの医療費は201,679円
老人保健	30億7,580万円	30億7,494万円	受給者4,265人、給付件数延べ83,996人、1人当たりの医療費747,487円
水道事業	収益的収入	収益的支出	給水人口29,961人、総配水量332万m ³ 、主な整備工事としては、広域化促進事業彦部地区配水池ポンプ室築造、町道箱清水蔭沼線改良、古館送水管布設替、石綿セメント更新事業町道二日町線改良、町道廿木線改良
	6億5,217万円	6億5,696万円	
	資本的収入	資本的支出	
	6億2,468万円	7億2,699万円	

人事関連についてのご紹介

教育委員に鷹猪忠一さん（南伝法寺）再任

平成六年三月から町の教育委員としてご活躍いただいておりますが、九月定例議会で再任されました。

鷹猪さんは、十月二十七日から国際交流事業アメリカボーテジ市中学生派遣団の団長として町内三中学校の生徒十二人や引率の先生とボーテジ市を訪問することになっています。

任期は四年、今後のご活躍を期待します

人権擁護委員に多田友夫さん、熊谷紀さん再選

町には、人権擁護委員として五人が活躍しています。この

ほど、九月定例議会で多田友夫さん（日詰・写真右）と熊谷紀さん（桜町・写真左）が再選されました。多田さんは平成五年十二月から六年、熊谷さんは平成二年十一月から九年と、ともに長い間ご活躍いただいているベテランの委員です。

人権擁護というとても難しい響きがありますが、いじめ・ぎゃくたい・体罰・家庭内のもめごと・差別問題・隣近所のもめごとなど身近な問題の相談に応じています。

皆さんの基本的な人権が侵害されることがないよう監視し、もし侵害されるようなことがあれば、救済のための適切な処置をとったり、人権思想の普及高揚にも努めています。

任期は三年、今後のご活躍を期待します。

町職員の人事異動

町では七木田和昭さん（下水道課長）が九月三十日付で退職されました。在職期間は三十二年、長い間ご苦労さまでした。

また十月一日付人事異動で新しく下水道課長兼集落排水係長として菊池清（前下水道課主幹兼課長補佐・下写真）が発令になりました。



教育振興 だより

教育振興運動とは
五者（子ども、親、教師、地域社会、教育行政）が、互いの責任を明確にし、力を合わせて教育の向上に努める運動

- 五者の基本目標
- 子どもの学習意欲の高揚
 - 家庭教育の振興
 - 学校教育の充実
 - 地域社会における教育環境の醸成
 - 教育条件の整備

紫波町教育委員会・紫波町教育振興運動推進委員会

テントの設営 レクリエーション 子ども会指導者研修会

六月二十六日（土）、夏休みを前に、前期の子ども会指導者研修会が紫波町運動公園陸上競技場で開催されました。

この研修会は、子ども会の育成に当たっている指導者を対象に行われていますが、今回から子どもも参加できることになり、指導者八十七人、子ども五十四人の参加がありました。

テントの設営とレクリエーションの実技実習を行い、指導者としての留意点など現場での実践に役立つ内容となりました。

参加者は、夏休み中の子ども会行事に役立てようと熱心に研修を受けました。

なお、後期の子ども会の指導者研修会は十一月に行つ予定です。



小野昭夫氏によるレクリエーション指導

紫波町中高生社会参加活動 世話人研修会をひらく

今年で十六年目を迎える中高生社会参加活動の世話人研修会が五月十七日から二十二日まで、町内六会場で行われました。

各地区実践班で中高生の活動を支援し、指導に当たる皆さんが、延べ二百十六人出席しました。

研修会は、まず教育委員会から世話人に委嘱状が渡され、開催地の公民館長があいさつしたあと、中高生社会参加活動の意義や方法、報告事項など世話人の役割について説明がありました。

質疑では、活動の内容、高校生の低参加率、活動報告の仕方のほか、中学校との連携拡大、活動のマンネリ化など建設的な意見も出されました。世話人の皆さんは、この一年間、自主活動のお世話をしています。



志和地区の研修会で熱心に説明を聞く世話人

利己主義 （エゴイズム）

と 傲慢 （ごうまん）



紫波町教育委員会
教育長
高橋 力

終戦を境界線に、日本は従来の軍国主義を反省して大きな転換を図り、「基本的人権・自由権・平等権・多数決原理・法治主義などを主たる属性」に持つ民主主義をとり、極めて望ましい方向にその潮流があつたものの、その間にその厳しい点検・吟味を忘れ怠つたために、全部が全部ではないが、責任のない・秩序のない・倫理のない自由と化し、復元力・自浄作用が排除され、軌道修正のできない現状が続いている。

極論すると利己主義と傲慢の世界の出現。親が保険金目当ての子殺し・夫殺し。銀行の粉飾決算の横行。オウム真理教の女子大生誘拐など果てしなく続くこの病弊は利己主義と傲慢のなせる業でなくして何であろうか。

私は悲観論者ではないから明るい方向を向いてはいるが、五者の責任 レスポンスヒリティ（子ども・学校・地域社会・親・行政）と一人ひとりの自浄作用・復元力を期待する昨今の心境である。

友情を深めた感動の二日間

県南青少年の家で開催



新しい友達が出来たオリエンテーリング

八月十日（火）午前八時、町総合体育館での結団式を終えた生徒たちは、高橋力教育長の激励を胸に、バス三台で県南青少年の家に向かいました。到着後、体育館での開講式、オリエンテーションを行い、研修の目的や施設利用の心得について指導を受けました。

結団式・生徒代表決意のことば

紫波一中二年 瀬川 隼

今日から僕たちは二日間家を離れ、県南青少年の家にお世話になります。地域の代表として、全体をリードするなど、話し合い学んでくるのですが、そのとき人の話を聞けなかったり、ふざけたりすると、せっかくの研修会も意味がないので、生活にしっかりとけじめをつけて、リーダーとしての力をたくさんつけて来るようにしましょう。

心に残った水沢市公民館長 油井明さんの講話

「中高生に期待するもの」と題する水沢市公民館長油井明さんの講話は、駅で歳末助け合い募金をする中学生、阪神大

講話・お礼のことば

紫波三中二年 菊池 尚子

今日は、私たちのためにすばらしいお話をしていただきありがとうございました。一つの出会いやきっかけからいろいろなることを学び、教えられるということを知りました。また特に大起君の作文が印象に残っています。障害を乗り越えようとする姿勢がよいと思いました。

地域社会のために少しでも役立つよう日々努力していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

震災でボランティア活動をする高校生、障害を持つ小学生の作文など具体的な事例をあげながら話が進められました。

その中で油井さんは、ボランティア活動を通して人間が変わること・奉仕活動は人のためより自分のためであることなどを強調され、生きる力を求める中高生に深い感動を与えました。

友情を育んだ オリエンテーリング

午後のオリエンテーリングは、炎天下で中学生男女混合の五丁六人で班を編成し、二十班がポイントを探し、得点を競いました。この活動で、初対面の他校生とも仲良くなり新しい友達も出来ました。その後の班活動での話し合いが深まり、思い出に残る活動となりました。

夕食後のアトラクションは、全員がバスケットのシュートで盛り上がりました。

紫波一中二年 佐藤 祐希

油井明先生の講話で、身体に障害のある子どもの作文から「生きる」ことへの希望がよくわかりました。「いじめ」の愚かさもわかりました。寺子屋の大村さん、菊池さんの話を聞き、リーダーとしての自覚を持つことの大切さを感じました。

紫波二中二年 工藤智恵美

私はこの研修会に参加して、積極的に行動できるようになりたいと思いました。

良かったことは、他の学校の友達に自分から声をかけたことです。油井先生は「積極的に行動することが生きること」だと言っていました。

紫波三中二年 細田 貴之

水沢市寺子屋の人の話が印象に残りました。話を聞いて、すごいと思っただのは、私たちと同じ年齢の人がたくさん人の前で自分の考えをしっかりと話せるということでした。私も立派になれるなら寺子屋に入りたいと思いました。

紫波二中二年 藤原 誠治

多くの人とのかわりができたオリエンテーリング。ぼくは九班のほとんどの人達と知り合うことができて、しかも迷子になったおかげで多くの人とふれ合うことができた。ぼくがリーダーになつたら「おもしろかった」と言わりたい。

水沢市寺子屋活動との 交流発表会

主体的な取り組みを学ぶ

二日目の午前は、水沢市の寺子屋活動（市内の寺社などで長期休業中に中高生が小学生の勉強や遊びを指導する活動）リーダーとの交流発表会でした。



高校生リーダーが活躍した班会議

発表会に備え、紫波町の中学生は十班に分れて班会議を持ちました。各班十人ほどの班員をまとめて、自主活動を集約して発表するための話し合いで、高校生が司会をするなどリードしてまとめ発表の準備をしました。高校生リーダーの真剣な姿が見られました。

朝の集い・団体紹介

紫波一中二年 大沼香奈子

私たちは、紫波町内の各地区の次期リーダーとして選ばれた紫波第一、第二、第三中学校の一・二年生と、私たちにリーダーとして協力してください。紫波高校の高校生のみなさんです。リーダーとしての基礎的な知識や能力を身につけ、来年各地区でのリーダーとして活躍するために来ました。一泊二日という短い間ですが、たくさんの方の話を学んで帰りたいと思います。よろしくお願いします。

中高生に役割を与えて

紫波町からは、十六年目を迎えた中高生社会参加活動について、各班の代表者が発表しました。

各地区の世話人の指導のもとで、清掃奉仕活動や地区民運動会の参加などしていること。課題として活動がマンネリ化して主体的参加が不足していること。改善点として地区の行事などに主体的に参

加するためには、計画段階から参画し中高生に役割を分担してはどうかなど、それぞれの班から発表がありました。

水沢市の発表は、最初に水沢市青少年育成市民会議の大村千恵さんから、寺子屋活動の説明と活動を通して中高生リーダーが成長していく姿の話がありました。

次に実際ジュニアリーダーとして活動している三人の中高生から、自分の体験発表があり、活動で得たもの、変わった自分、中高生リーダーに必要な資質など熱く語られ、深い感銘を受けました。

生徒達は、同年代の人が生き生きと活動している様子を聞き、これからの活動に決意を新たにしました。

解団式・帰町報告

紫波一中二年 金田 真子

私たちは、無事研修を終えて帰って参りました。研修ではたくさんの方の話を学ぶことができました。

油井先生の話や聞き、生きることの意味、人との出会いの大切さを学び、オリエンテーリングや班会議では、お互いの意見を出し合い協力し合うことができました。

これらの学んできたことを地区の行事で活かし、学校では、これから全校を引っ張っていく立場になる人もいます。そこで役立てていきたいと思っています。一泊二日の短い期間でしたが、ほかの学校の人たちと交流を深めることができて良かったです。高校生、指導者のみなさん、ありがとうございました。

紫波三中二年 松崎 美沙

私はこの研修会で「規律・友情・共同・奉仕」の四つを学びました。

一番心に残ったのはオリエンテーリングでした。すごくつらい部分もありましたが、つらいことを乗り越えながらゴールしたとき、本当にうれしく思いました。

紫波一中二年 戸塚 恵里

寺子屋の人達からは、リーダーとしての考え方がわかったような気がしました。

特に印象に残っている言葉は「変えたかったら自分で動く」ということでした。私はこの言葉を聞き、すごく勇気づけられた気がしました。

紫波高校三年 藤原 康晃

この研修会に、高校生リーダーとして三回目の参加です。班員すべての長所短所を見抜くことはできなかったが、中学生は結団式の時より確実に成長していると思います。言葉づかいなど、中学生から学ぶ点もたくさんありました。

指導者・長岡公民館指導員

横沢 きく

今年もリーダー研修会に参加させていただきました。多くのことを学びました。オリエンテーリングで汗だくになってポイントを探し、挑戦して良かったと思います。またやってみたいと思います。夕食後のアトラクションは、淳子先生のアイデアで短時間でしたが盛り上がりたと思います。

想 感 の 参 加 者 の 研 修 会



学びを広げる「総合的学習」

赤石小学校長 一方井 ヨ シ



画面を見つめる真剣な目。インターネットを使って、膨大な情報の中から必要な資料を探し出すと身を乗り出して学習している左の写真は、五年生の「米」をテーマにした総合的学習の活動の一幕です。

本校では、紫波町教育委員会並びに文部省の研究指定を受け、総合的学習を窓口としながら、自ら学びを広

げ、自らの課題を解決していく力を育てる」ことを主題として研究に取り組んでいます。

人や自然、社会を見つめ、その課題を追究する中で、生きる力の基となる問題解決能力や学び方、主体的創造的取り組み態度を育てていくこととするものです。

地域や地域の皆さんから学び、ふる

さとの文化と伝統や、国際理解、環境問題、福祉体験についても取り組みますが、子どもたち一人ひとりに「生きる力」をつけさせたいと考えています。



紫波第三中学校では生徒が地域に入って、体験を通して学習する行事が多く計画されており、多くのことを学んできます。

東洋一の洋なし団地における受粉作業、芽欠き作業、収穫作業、新生園での奉仕活動そして地域の職場に入って学ぶ勤労体験学習もまたその一つです。

生徒は地域の方々の協力の下、人と人との関わりを学んだり、職業生活の一端を垣間見たり、学校で得られない多くのことを体験を通して学んでいきます。

百聞は一

見にしかず、百見は一考にしかず、百考は一行にしかずと言われますが、地域の皆さんを師として体験的な活動を通して主体的に活動する生徒に成長して学校に戻ってきます。

地域の運動会での中学生の活躍など、子供達が地域、家庭、学校で健やかに成長していることを実感している毎日です。

主体的に活動する生徒達

紫波第三中学校長 佐藤 正春



志和保育園での勤労体験学習

父親を考えるフォーラム 参加者から聞いた父親像

県教育委員会主催の「父親を考えるフォーラム」が九月十一日(土)、玉山村文化会館で二百五十人が出席して行われました。町内からは二十七人の父親が参加し、父親の役割の重要性について再認識し、熱心に学習しました。

会場、日ごろ子育てに頑張っているお父さんの実態を探ってみました。

「共働きなので小学校の時から授業参観やPTAに参加してきました(長岡・細川さん)」「学校行事は父親が主に活躍し、母親は補佐役です(南日詰・滝浦さん)など、子育てはお母さん」という時代ではなく、子育ては父であるという時代ではなくなっているようですが、「学校行事は時間帯が勤務時間内のことが多いので、父親はまだまだです(稲藤・西在家さん)」の声にもうなずけます。

テーマ別分科会では、「どうしたかという子育てで物足りない(赤沢・中沢さん)」と前向きで真剣な参加、学校の枠にとられない父親会があってもよい(志和・阿部さん)のように、楽しんで子育てに参加するお父さん達のこれからの活躍が期待されています。

めざすは金メダリスト PTAリフレッシュセミナーから

教育委員会では、各学校PTAと連携し、より充実した学習活動を目指して、「PTAリフレッシュセミナー」を開催中です。

星山小PTAでは、九月七日、県人初のオリンピック金メダリスト三ヶ田礼一氏

を招き講演会を開催しました。四年生以上の児童四十二人、PTA会員六十三人と地区民が三ヶ田選手の話を楽しみました。



三ヶ田選手からサインをもらって喜ぶ子どもたち

長岡地区・八幡平登山 ここにもがんばる中学生

八月四日、長岡地区子ども会リーダー研修の八幡平登山を行いました。

地区の中学生は小学生の指導者として参加、植物を観察しながら歩き、さわやかな夏の思い出となりました。



八幡平登山で先導する長岡地区の中学生

紫波第三中学校・
細川剛君へ

インターハイがんばりました。
応援ありがとう
島根県立出雲工業高校
2年・石飛龍一



佐比内小学校・
前川 愛さんへ

開会式で演奏された太鼓は
すばらしいものでした。紫
波町の皆さんのやさしい心
にふれることができたとて
も嬉しかったです。

東京都立
小金井工業高等学校
自転車競技部監督・
前田平作



片寄小学校・
北條ひかるさんへ

メールうれしかったです。
今回は残念ながら13位に終
わりました。でも、ひかる
さんが応援してくれたおこ
げで最後までがんばること
ができました。ありがとう。

福岡県立八女工業高校
3年・梶山裕次郎

全国へのかけはし インターハイ ■ その後 まごころメール

紫波第二中学校・
七木田絵里奈さんへ

その後お元気でしょうか。
おかげさまで僕はバンク、ロード共に優勝することができました。このインターハイは、一生の思い出になると思います。来年は岐阜が会場です。見に来てくださいね。

岐阜県立岐南工業高校
3年・郡山善貴

町全体が湧いたインターハイ。
今では夢のような出来事に思えます。

先月号で紹介しましたが、出場した選手・役員からまごころメールの返事がきています。読めば心温まる内容で、全てを掲載できなくて残念ですが、届いた中からその一部を紹介します。

星山小学校・
阿部早苗さんへ

紫波町は空気がおいしくて、
自転車に乗ってとても気持ち
がいい町でした。ずっと
この町に住んでみたいとなり
ました。応援ありがとう。

東京都立八王子工業高校
2年・木材圭吾

水分小学校・
村田菜摘さんへ

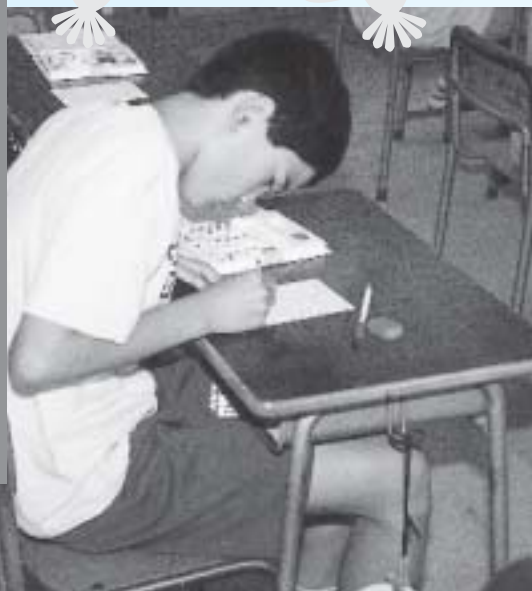
菜摘さんは何かスポーツし
てる？もしやっているなら
試合の勝ち負けでなく、一
生懸命練習し、そして楽し
むことが大切。勉強もがん
ばろうね。

栃木県
作新学院自転車競技部
コーチ・田野辺 晋

紫波町内
各小中学校の皆さんへ

暑さに驚きました。沖縄から本土
に来て暑く感じたのは、これが
初めてです。けれど緑が深く温泉
もあり紫波町はとてもいいところ
いう印象でした。人が親切でやさ
しいのは沖縄と共通していますね。
ところで試合の方は準決勝に進ん
だ種目もあり、まーまーの結果で
した。最後になります。沖縄に
もいつかいらしてください。海が
きれいですよ。それでは大変お世
話になりました！

沖縄県立中部工業高校
選手・監督一同



まちで見つけた
出来事を写真とともにご紹介します

まちの話題



アイス試食に長蛇の列（佐比内）



飛ぶように売れた農産物（赤沢）



試食・試飲に舌鼓（大巻）



一番人気のもちまき（佐比内）



ラ・フランス温泉館前では
温泉保養公園まつりを開催



紫波ひめ隊による歌と踊り、もちつき。
もちろん目当てはこの後のつきたてもちの振るまい（赤沢）



豪華賞品が当たるスタンプ
ラリーも大盛況（長岡）

売上げ、人出とも昨年以上 大盛況となったフルーツの里まつり

スタンプラリーにもちまき どの会場も一日中お祭り騒ぎ

秋分の日当たる九月二十三日（木）町内六カ所の産直センターとラ・フランス温泉館の多目的グラウンドを会場に「フルーツの里まつり」が開かれました。この日は穏やかな陽気となったこともあり、町内外から多数の人出で一日中にぎわいをみせていました。

各会場ともそれぞれの地区らしい趣向を凝らしたイベント・試食・試飲が人気のラ・フランス温泉館多目的グラウンドでは、「温泉保養公園まつり」も併せて行われ、ポニー乗馬や小動物とのふれあいを楽しむことができました。

特に人気は三会場を回ると抽選ができる「スタンプラリー大抽選会」で、くじを引くたびに歓声があがっていました。

クライマックスは恒例となったもちまき。西部地域の三会場は二十三日にちなみ午後二時三分に、東部会場は国道番号にちなみ午後三時九分六秒にスタート。藤原町長もまき手として参加した佐比内会場では、秒読みの終了とともに一斉にまかれ、一つでも多くとろうとする人で大いににぎわいました。

長寿を祝って各地で敬老会 心のこもった催しに笑顔の日

町では、九月十五日の敬老の日を前に、それぞれの地区公民館を会場に、長寿と健康を祝う敬老会が行われました。招待を受けたのは七十三歳以上のお年寄り三千百九十一人。集まった人たちは、地区の人たちの心のこもった料理や、趣向を

凝らしたアトラクションに楽しい時間を過ごしました。

なお町内の最高齢者は南伝法寺の藤原金松さんの百歳です。どうぞ皆さんいつまでもお元気で。

地区ごとの招待者の数

日詰 三百九十五人／古館 三百六十八人／水分 三百十二人／志和 六百十八人／赤石 五百三十人／彦部 二百九十二人／佐比内 二百六人／赤沢 百九十九人／長岡 二百二十六人／にいやま荘 四十五人



200人以上が集まった古館地区敬老会

水道工事店組合とスクラム組んで 災害時の水の確保を万全に

町と町内指定工事店八社による紫波町水道工事店組合（巻藤清吉組合長）は九月六日（月）、災害など非常時における応急復旧工事に関する協定書の調印式を行いました。これは地震や風水害などの災害により水道施設が被災した時、町の応

援要請に素早く対応し、飲料水の確保や緊急復旧を行うためのものです。藤原町長は「災害時の水の確保は重要なこと。工事店の協力により災害時の体制が確立されたことに感謝します」と述べました。それに対し、巻藤組合長は「一層技術の向上に努めます」と力強く抱負を語りました。



協定書を取り交わす巻藤組合長と藤原町長

珍しい炊飯車両に 買い物客もびっくり

自衛隊協力会創立二十周年記念行事が、九月十九日（日）、盛岡南ショッピングセンター、ナックスで行われました。会場は珍しい炊飯車両での給食体験ができるとあって試食をする人や、防災活動のパネル見入る人などにぎわいました。また陸上自衛隊若手駐屯地音楽隊による記念演奏も行われました。曲はどれも親しみやすいものばかり。うわさを聞いて楽しみにして来たという人や、買い物に来て偶然知ったという人など百人ほどが、

ミニコンサートに耳を傾け楽しい時を過ごしました。



炊飯車両の食事は初体験

死亡事故ゼロの記録を伸ばすため 交通安全はみんなの手で



楽しいお話に皆引き込まれて

九月二十一日（火）から三十日（木）までは秋の全国交通安全運動期間。町でも、紫波警察署や地区の交通安全協会、交通安全母の会、交通指導員などたくさんの方の協力をいただき、期間中各地でさまざまな運動を展開しました。町内三カ所の駅前で黄羽根とティッシュペーパーの配布、交通安全テント作戦、交通安

全ゲートボール大会、デイサービスに来る高齢者に交通安全指導を行うなど、幅広い運動を行いました。特に夕暮れの早いこの時期はとても危険。八月に達成した死亡事故ゼロ一年の記録をこのまま伸ばしたいものです。



（左から）結果報告に訪れた須藤先生、澤口さん、高橋教育長、矢口校長

紫波の「柔ちゃん」 中学校柔道全国大会で堂々二位

紫波第一中学校二年の澤口かえでさんは、八月二十四日（火）、福井県で行われた中学校柔道全国大会で、四八キロ級でみごと二位というすばらしい成績を収めました。小柄でかわいらしい澤口さん、柔道をしていては従兄弟やお兄さんの練習を見学に行き、自分もやってみようと思ったのがきっかけか。大会では、「予選に勝てれば」と思っていたが、勝ち進むうちに「自分の力を出せれば」と思い無我夢中で臨んだとのこと。すばらしい活躍おめでとございます。

困っていること、納得がいけないこと、要望したいこと 行政相談委員が相談に応じます

10月17日(日)～23日(土)は「行政相談週間」です。当町担当行政相談委員の花籠陽太郎さんが、次のとおり行政相談所を開設します。

町の仕事について困っていること、納得がいけないこと、要望したいことがありますら、気軽に相談ください。

日時 10月22日(金) 午前10:00～午後4:00

場所 役場第6会議室(地下1階)

問合せ 総務課総務係 ☎672-2111 内線313 有線01-8932

このほか国、県、JR、NTTなどに対する苦情や悩みは下記で受け付けています。
行政苦情110番(総務庁岩手行政監察事務所内) ☎623-1100

献 血 あ り が と う

成分献血【9月1日(水)】		全血献血【9月13日(月)】つづき	
紫波町役場	23人	たもり日詰店	200ml 4人
全血献血【9月13日(月)】			400ml 7人
岩手県立紫波高等学校	200ml 34人	山王海土地改良区	200ml 3人
			400ml 10人

「あぶないよひとりぼっちにしたその火」(平成11年度統一防火標語)



11月9日～11月15日 秋の火災予防運動

寒さが肌にしみる季節となり、暖房器具などの火を使用する時季になってきました。

また、空気も乾燥して火災の発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災の発生を防止して大切な命や財産を守るため、11月9日から15日まで全国一斉に「秋の火災予防運動」が展開されます。

予防期間中、紫波消防署では高齢者などの家庭を中心とした防火指導や地域住民を対象とした防火座談会、救急講習会を実施します。

なお、火災予防に関するお問い合わせは、お気軽に紫波消防署までお願いします。
☎672-2400まで 有線04-8811

備えあれば憂いなし ラ・フランス温泉とその周辺で火災防御訓練

町では、火災予防運動の一環として、次のとおり火災防御訓練を実施します。

訓練は、災害に対する備えを充実させ、防火意識を高めてもらおうと実施するものです。今回は、宿泊施設から火災が発生したとの想定で行います。訓練状況などを見学してみたいかがでしょうか。

なお、訓練当日は、会場周辺に交通規制がしかれ、消防車両などがサイレンを鳴らして行き交いますので、通行には十分注意願います。

日時 11月7日(日) 午前11:00～12:00(交通規制は11:45まで)

場所 小屋敷地区(ラ・フランス温泉とその周辺)

問合せ 生活環境課消防安全係
☎672-2111 内線148・149 有線01-8901

- 防火予防のチェック事項**
1. 家の風通し、特に目のつきやすいところには、燃えやすい物を置かない。
 2. ゴミは、きめられた日に、きめられた場所に朝に出す。
 3. 戸締まりに気をつける。
 4. 旅行に行くときは、隣や近所に声をかける。
- 火の用心7つのポイント**
1. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
 2. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
 3. 天ぷらを揚げるときは、たき火をしない。
 4. 風の強いときは、マッチやライターで遊ばせない。
 5. 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
 6. 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
 7. ストープには、燃えやすいものを近づけない。



ご存じですか？ 医薬品 副作用被害救済制度

医薬品を適正に使用したにもかかわらず、副作用による健康被害(入院を必要とする程度の疾病・障害、死亡)が発生した場合に医療費、医療手当、障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金、葬祭料の諸給付を行い、救済を図ろうとするのがこの救済制度です。

制度のしくみを解説したパンフレットと請求用紙を無料でお送りします。

医療品副作用被害救済・研究振興調査機構
総務部企画課相談係

(〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞ヶ関ビル9階)

☎03-3506-9411



「トルコ地震救援金」 ありがとうございました

8月17日に発生したトルコ共和国の大地震にお寄せいただいた皆さんからの海外救援金は9月10日現在、約14万件、14億円に達しています。日本赤十字社では、この救援金をもとに救援活動を行っています。今後も救援金を受け付けています。

●郵便振替 00110-2-5606 日本赤十字社名義(振替手数料免除。振替用紙の通信欄に「トルコ地震」と記入)

「台湾大地震」「台風18号災害」の 海外救援金・義援金を 受け付けています

9月21日発生の台湾大地震による被害者支援のため海外救援金を受け付けています。

●郵便振替 トルコ地震と同口座(振替手数料免除。振替用紙の通信欄に「台湾地震」と記入。11月19日まで)

また台風18号の通過により、とりわけ被害の大きかった熊本県と山口県の被災者救援のため、それぞれの県共同募金会では義援金を受け付けています。

●郵便振替 01930-2-2300 社会福祉法人 熊本県共同募金会名義(振替手数料免除。10月26日まで)

●郵便振替 01300-4-64150 社会福祉法人 山口県共同募金会名義(振替手数料免除。10月31日まで)

問合せ: 日本赤十字社岩手県支部紫波町分
区事務局・岩手県共同募金会紫波町分
区事務局(紫波町総合福祉センター内) ☎672-3258 有線01-2105

情報 掲示板

注目！ 新しい時代のための 平成大学特別講座

中央公民館では天野巡一さんを講師に招き、平成大学特別講座を開きます。天野さんは明治大学卒業後、武蔵野市役所職員として都市開発部長、水道部長などを歴任してこられました。現在、岩手県立大学総合政策学部教授

として活躍されるほか、紫波町介護保険事業計画策定懇談会委員も務められています。新しい時代の町づくりについて、貴重な提言が聞ける機会です。皆さんご参加ください。

▶日時 11月10日（水）午前10：00～11：30

▶場所 中央公民館集会室

▶講義内容 「私たちのくらしと分権」

▶問合せ 中央公民館 ☎672-3372 有線01-2922

お知らせ

平成12年の成人式 町外在住者受付について

町では、平成12年1月10日（成人の日）に成人式を開催いたします。

この成人式は、原則として当町に住民登録されている新成人を対象にしていますが、転出により現在町外に居住されている人についても、申し込みにより参加できますので、次

のとおりに申し込んでください。

なお、町内居住者については、申し込みの必要はありません。

▶対象 昭和54年4月2日から昭和55年4月1日までの間に生まれた、当町出身者で、現在町外に居住され成人式への参加を希望する人

▶申込期間 11月30日（火）まで

▶申込内容 本人または家族から、電話などによる申し込みを受け付けます。申し込む際には氏名、生年月日、性別、現住所、帰省先住所を連絡してください。

▶その他 成人式への案内状は、12月中旬に発送する予定です。参加者には後日、特製「成人記念アルバム」を進呈します。

なお今年は例年とは異なり、区長のとりまとめは行いません。

▶申込・問合せ 教育委員会事務局 社会教育課（紫波町中央公民館内）（〒028-3305 紫波町日詰字下丸森24-2）☎672-3362 有線01-8941

銭形平次のふるさと祭り & JA '99 収穫感謝まつり イベント内容

期日 10月23日（土）・24日（日）
場所 銭形平次のふるさと祭り：紫波勤労者総合スポーツ施設（サン・ビレッジ紫波） JA '99 収穫感謝まつり：JAいわて中央本所
問合せ 企画課商工労政係
☎672-2111 内線326 有線01-8891

町内の産業が集う「銭形平次のふるさと祭り」が行われます。町内の物産、企業、地酒、銘菓などが集うほか、織物や工芸品、陶器フェスティバル、くらしの見直し展、親子手作りコーナーなど、屋内外に30を超えるコーナーが設けられます。そのほか楽しいイベントも予定しています。

今年は「JA '99 収穫感謝まつり」も同日に開催され、2会場を結んでのスタンプラリーも行われます。

平成11年度銭形平次のふるさと祭り		JA '99 収穫感謝まつり	
（当日は二会場と日詰商店街駐車場を結ぶシャトルバスが出ます） 銭形平次のふるさと祭り & JA '99 収穫感謝まつり	十月二十三日（土）	午前9：00	開会
		午前9：10	紫波の秋・とれたて市
		午前10：00	フリーマーケット
		午後1：00	輪投げ大会
		午前11：00	グリル紫波亭 牛豚まつり
			紫波牛・紫波黒豚の炭火焼き
		午後2：00	木村友衛オン・ステージ
		午後4：30	1日目閉幕
	十月二十四日（日）	午前9：00	2日目開幕
		午前10：00	ストラックアウト/キックターゲット
		午前10：30	木村友衛オン・ステージ
		午前11：00	チャグチャグ馬コ記念撮影（3：00まで）
		午前11：00	グリル紫波亭 牛豚まつり
			紫波牛・紫波黒豚の炭火焼き
		午後12：00	餅つき大会（試食）
		午後1：00	大餅まき大会
		午後2：00	木村友衛オン・ステージ
		午後4：30	閉幕

「アイラブふるさと学講座」(全8回)

県教育委員会や関係市町村が主催し、県民の生涯学習の振興に役立てることを目的とした「アイラブふるさと学講座」が開かれます。いずれも地域の特性を生かした講座です。定員になり次第締め切りますので次に電話かファックスでお申し込みください。

教育委員会社会教育課 ☎672-3362 ☎672-4600

市町村	学習テーマ	期日・会場	講師
第1回 岩手町	石彫の町 ～26年の歩み～	10/7(木) 13:30～16:00 石神の丘美術館 ゆはづ交流館	岩手町国際石彫シンポジウム実行委員会会長 柴田正信さん / 石神の丘美術館館長 遠藤博城さん
第2回 滝沢村	噴火の歴史に見る 岩手山	10/16(土) 10:00～12:00 滝沢ふるさと交流館	地熱エンジニアリング株式会社 主席技師長 理学博士 土井宣夫さん
第3回 玉山村	啄木の ふるさと観とは	10/25(月) 10:30～14:30 旧沢民小学校 校舎	石川啄木記念館 学芸員 山本玲子さん
第4回 岩手町	縄文を探る	11/18(木) 14:00～16:00 ゆはづ交流館 発掘現場	文化財保護委員 高橋昭治さん 社会教育課主任 菅原修さん
第5回 玉山村	そば文化の ルーツを探る ～そば打ち体験～	11/25(木) 10:00～12:00 ユートランド 姫神	ユートランド姫神職員
第6回 葛巻町	古文書で知る 葛巻町の歴史 ～江戸時代における庶民の暮らしにふれて～	12/22(水) 14:00～16:00 葛巻町総合センター	文化財保護委員 下四日市春雄さん 近藤好郎さん
第7回 雫石町	雫石街道をしのぶ	1/20(木) 10:30～12:00 雫石町中央公民館	田沢湖町生涯学習課 課長 石橋邦宏さん
第8回 紫波町	素顔の野村胡堂	1/29(土) 13:30～16:00 あらえびす記念館	野村学芸財団役員 桂書店会長(著作業) 藤倉四郎さん

勤労青少年ホーム 短期講座受講生募集 遊びながら学んでみよう

勤労青少年ホームでは、10月～12月の短期講座の受講生を募集しています。いずれも初心者対象ですので初めての人も気軽に参加ください。

参加資格：各講座とも30歳以内の勤労青少年で町内に居住か勤務の人

申込期限：定員になり次第締め切り

その他：まだ入会していない受講希望者は入会金1,000円(傷害保険料含む)が必要となります。

申込・問合せ 紫波町勤労青少年ホーム

☎676-2344 有線01-3134

期日：10月20日～12月15日 毎週水曜

場所：勤労青少年ホーム

調理室

時間：午後7:00～9:00

00

経費：4,000円(8回分)

定員：15名

料理
講座



日時：11月6日(土) 午前9:00～12:00 / 11月7日(日) 午後1:00～3:30

場所：ポニースクール岩手

内容：馬装、乗馬レッスンetc.

経費：5,000円(2日分)

通常10,000円の半額です。

定員：10名



期日：10月22日・29日

場所：勤労青少年ホーム

調理室

時間：午後7:00～9:00

内容：クレープ・ホットケーキetc.

経費：1回 500円

定員：15名

お菓子作り
講座



< P R >



東北電力から お客さま窓口の 変更のお知らせ

東北電力では、紫波サービスセンターを廃止いたしました。

これまで紫波サービスセンターで行ってまいりました業務につきましては、盛岡営業所でうけたまわらせていただいておりますので、よろしく願い申し上げます。

新しいお客さま窓口

東北電力株式会社盛岡営業所

〒020-8521 盛岡市紺屋町1-25

☎653-2111

平成11年度紫波町婦人スポーツの集い 第18回紫波町インディアカ親善大会

教育委員会主催による「平成11年度紫波町婦人スポーツの集い」と「第18回紫波町インディアカ親善大会」が同じ日に開かれます。誰でも参加できるエアロピクスとユニークなスポーツのインディアカですので、参加して、見て楽しんでください。

期 日 平成11年11月7日(日)

場 所 総合体育館

日 程 開会式 午前9:00～9:10

婦人スポーツの集い 午前9:10～10:00

(盛岡リフレッシュスポーツ(株)の滝浦美和子さんによる初心者向けエアロピクスですので誰でも参加できます)

インディアカ大会 午前10:00～

【1チーム4人で構成し8人まで登録できます。女子の部=18歳以上の部・30代の部・40代の部・50代の部、男子の部(年齢区分なし)。参加資格は町内在住の平成12年4月1日現在で18歳以上の人(高校3年生も出場できます)】

参加申込 婦人スポーツの集いは当日までに(電話可)、インディアカ大会は10月31日(日)午後9時までに総合体育館へ申込。

詳しくは各地区のスポーツ推進員が総合体育館までお問い合わせください

問合わせ 総合体育館 ☎676-2650 有線01-3163

情報掲示板

第8回 紫波町民俳句大会

日時 11月3日(水) 午後1:00から
会場 赤石公民館(日詰駅前)
選者 稲垣恵香、加藤忠子、吉田一路
投句 秋の句 3句
表彰 小・中・高校生の入賞者

平成11年度冬期 紫波町スポーツ教室プログラム 生徒募集

初心者大歓迎
参加申し込み

- 教室は、初心者・初級者を対象として基本を中心に指導します。
 - 申し込み希望者は参加料を持参の上、総合体育館事務室に直接おいでください。
 - 参加料には、スポーツ安全保険料が含まれております。
- なお、前期スポーツ教室に参加された人で同じ教室に入る人は割引になりますので、申込みの際に申し出てください。
- 定員になり次第締め切りますので早めにお申し込みください。



受付 10月31日(日) 午前10時総合体育館窓口にて受付開始
問合わせ 総合体育館 ☎676-2650 有線01-3163

	教室名	内容	期間	対象者	会場	参加料
レディース教室	ヨガコース	ホームヨガの基本。ゆっくり、じっくり体を動かします。体が柔らかくなりますよ	11月13日～2月12日 毎週土曜日(10回) 10:30～12:00	女性 定員30名	総合体育館	2,000円 (前期参加者は1,000円)
	スキーコース	スキーの基本から応用まで指導者がついてるので安心です(リフト代1日1,500円)	1月11日～2月22日 毎週火曜日(7回) 9:00集合～16:00	女性 定員30名	網張スキー場 総合体育館集合 (バス送迎有)	6,000円 リフト代別
チビッコスポーツ教室		親子体操、運動あそびなど	11月12日～2月4日 毎週金曜日(10回) 10:00～12:00	幼児と親 定員30組	総合体育館	親子で2,000円 (前期参加者は1,000円)
水泳教室		初心者にも手取り足取りお教えいたします。泳げない人や息継ぎができない人歓迎(プール代別)	11月15日～1月24日 毎週月曜日(10回) 18:30～20:30	定員20名	ラ・フランス温泉館 (現地集合)	2,000円 (前期参加者は1,000円)
少年少女スポーツ教室	ミニバスケットボールコース	ミニバスケットボールの基本	11月13日～ 毎週土曜日(10回) 14:00～16:00	小学5・6年生 定員40名	総合体育館	1,000円 (前期参加者は600円)
	剣道コース	剣道の基本	11月4日～、毎週土曜日 14:00～16:00、毎週木曜日 16:00～18:00	小・中学生 定員40名	総合体育館	1,000円 (前期参加者は600円)
	柔道コース	柔道の基本	11月6日～ 毎週土曜日 15:00～17:00	小・中学生 定員30名	総合体育館	1,000円 (前期参加者は600円)
なぎなた教室		なぎなたの基本。なぎなたは平安時代の末頃から人馬をなぎ払うのに用い、江戸時代に武家の女子の武道として発展し現在に及んでいます	11月6日～ 毎週土曜日 16:00～18:00	小学生以上 定員20名	総合体育館	小中学生1,000円 一般2,000円(継続者割引)
スキー教室		スキーの基本から応用まで(リフト代1日1,500円の予定)	1月8日(土)9日(日)15日(土)16日(日) 8:00集合～16:00	小学4年生以上 定員60名	網走スキー場 総合体育館集合(バス送迎有)	小中学生3,000円 一般4,000円
スケート教室		なんと会場は貸し切りです!(参加料は入場料、貸靴代、保険料を含んでの金額です)	1月4、5、6日の3日間(総合体育館集合) 8:30集合～11:00	小学生以上 定員40名	石鳥谷町アイスアリーナ (バス送迎有)	小中学生2,500円 一般3,000円

保健センターだより

■問合せ 長寿健康課 ☎672-4522 有線01-8991

40歳以上の4人に1人は歯周病

...有効な定期健診

高齢化社会となり、介護保険制度の申請もスタートしました。長生きと歯は密接な関係があり、80歳になっても20本の歯を残そうという「8020(ハチマルニイマル)運動」も提唱されています。

歯は食べ物をかみ、細かくして胃や腸での消化吸収をよくする働きや、顔の形や発声、発音をはっきりさせる働きもしています。自分の歯が20本残っていると、高齢になっても比較的よくかんで物を食べることができ、普通の食事がおいしく栄養も十分に摂れます。またボケ予防にも関係するといわ

れるほど、歯は体の大切な一部です。

80歳の人では、岩手県の場合平均4.6本の歯が残っており、紫波町は5.6本という調査結果があります。「8020」には遠いのですが、「8010」を目標に歯の健康を考えてみませんか。歯を失う一番大きな原因は「歯周病」で、40歳以上の8割近くの方が罹患しているといわれます。

歯には自分自身で治す力(自然治癒力)が全くなく、歯に少しでも異常を感じたら早期受診が大切です。

予防は、

食後の歯みがきが一番大切で、歯垢がたまらないようにブラッシングを丁寧に行い、口の中を清潔にする習慣をつけましょう。

定期的に歯科健診を受けましょう。

早期発見、そして早期治療は歯科においても大切です。

中高年からの歯の健康対策は、歯が20本以下になっても失った歯を義歯などで補い残っている歯のケアに努めていくことが、健やかな老後の第一歩となります。



国民年金コーナー

所得・資産状況により

保険料の免除制度が利用できます

Q わたしは自営業を営んでおりますが、最近の不況で経営不振が続いており、高校と中学校へ通学している子どもの学費や生活費、税金の支払いで苦しいので、私と妻の国民年金保険料の納付が困難です。納付を延期することはできないでしょうか？(Kさん・43歳・男性)

A 保険料を免除する制度がありますので、申請をしてください。

国民年金は、20歳から60歳になるまで保険料を納めなければなりませんが、長い期間であり、納めることができなくなることも予想されます。そういう人の

ために保険料を免除する制度があります。

具体的には、免除申請をしていただき、所得や資産状況を調べて納付能力について判断し、免除の可否を決めます。詳しくは、年金係でご相談ください。

ただし、住宅・土地・車など購入のためのローンや多額の生命保険料の支払いに伴うものは、対象外となります。

また、免除期間がありますと老齢基礎年金が満額受けられなくなりますので、後日支払える時に追納をしてください。

なお、追納できる期間は10年であり、経過年数により加算額が加わります。

* 申請をされる場合は、印鑑・年金手帳をお持ちになり、役場町民課年金係でご相談ください。

■問合せ 町民課年金係 ☎672-2111 内線146、147 有線01-8900



俳句「吉田一路・選」

秀逸 カナディアン機翼に名月乗せて

飛ぶ

名月や寝息確め巡回す

(中 島) 大原 秀子

評 前句は海外旅行吟で、伝統的月を現代的に詠む。後句は看護婦さんの夜勤詠

佳作 名月のメール添へられ病食膳

(上平沢) 斎藤 静子

佳作 名月や畑はメルヘンたぬき村

(犬吠森) 小野寺 礼子

入選 名月を洗眼をして眺めけり

(犬 淵) 一戸 一秀

入選 名月やノッポのビルに囲まれて

(南伝法寺) 熊谷やえの

入選 名月や小石にも影ありにけり

(東長岡) 稲垣 恵香

入選 うだる日々堪へ来て仰ぐ今日の月

(佐比内) 高橋 順子

入選 名月や大きく仏間の戸を開く

(平 沢) 藤尾 艶子

入選 名月の兎に雲のかかりけり

(上平沢) 城戸美江子

入選 酔さめて名月寒き畦戻る

(片 寄) 高橋 一風

入選 手のひらの名月手紙にて送る

(土 館) 畠山 敦子

題 十一月「紅葉」 十一月「蒲団干す」

短歌「菅原照子・選」

特選 出産の予定日過ぎし娘をれば耳

そばたてて庭の草とる

(大 巻) 赤川 秀子

評 里に帰って出産する娘さんの予定日が過ぎ、今かいまかと待ちながら、庭の

草をとっている作者の気持ちが素直に表現されている。

秀逸 雑草にからまりて咲く唇の明るき道を今朝も歩めり

(中 島) 山崎 将美

評 毎朝散歩をしての囁目録。一首、ことに更に目立つたところが心が沁みてくる。

「今朝も歩めり」の結句に支えられた歌

佳作 びっしりと小花つけたる梅もどきに羽音をたてて蜂のまつはる

(佐比内) 高橋 順子

佳作 長雨の晴れて今日より稲刈りの作動の音に心が弾む

(上平沢) 浅沼 久夫

佳作 突然に飛びたちし鴨の羽ばたきに川原の上の雲雀なき止む

(犬吠森) 加藤 アイ

川柳「熊谷岳朗・選」

特選 死亡届遺草少し許されよ

(上平沢) 生内アイ子

評 何ともおもしろい句である。

ハソコ一つ役所で巾をきかせて

いる (南伝法寺) 細川 清一

秀逸 場慣れせず役所の前で固くなる

(東長岡) 半田 さち

秀逸 すぐやる課身近になつてゆく役所

(日 詰) 葛岡ヒデ子

佳作 スーパーに役場の支所が欲しくなり

(稲 藤) 細田まこと

佳作 イベントに役所も日曜日の出勤

(長 岡) 工藤 朝子

佳作 お役所はあらほの町のヘソかも

(中 島) 山崎 将美

佳作 休日風の風はやさしい官庁街

(日 詰) 森田 嗣子

佳作 町民課老いに親切気が和む

(片 寄) 畠山 聡

佳作 お役所は敵だと思ふ納税日

(上平沢) 阿部 美子

佳作 手がふれて心かよえる役場から

(星 山) 半田 浩美

題 十一月「傷」 十一月「そろそろ」

あなたの作品をお寄せ下さい。毎月20日までにハガキで役場広報まで。

人口の動き

平成11年9月30日現在(前月比)	
人 口	33,330人(+53人)
男	16,015人(+31人)
女	17,315人(+22人)
世 帯	9,300世帯(+16世帯)
●1年前は(今年との差:増分)	
人 口	32,758人(572人)
男	15,771人(244人)
女	16,987人(328人)
世 帯	9,029世帯(271世帯)

お誕生 おめでとう



氏 名	(住 所)	届出人
庄野 巨紀	(北日詰)	潤
阿部 雅樹	(犬吠森)	泰幸
菊池 さくら	(桜 町)	利英
熊谷 鈴音	(片 寄)	直樹
生内 孝哉	(宮 手)	保
加藤 瑞涼	(高水寺)	靖彦
高橋 愛友	(平 沢)	勝志
佐々木しおり	(紫雲寺)	千穂

慶弔コーナー

平成十一年九月一日から三十日までの受け付け分から、町に住所のある人を届け出の順に掲載しています。

ご結婚 おめでとう



氏 名	(住 所)	父 母
松本 爽香	(日 詰)	俊一
筒井 美帆	(二日町)	明博
阿部 志織	(草刈)	利美
佐藤 観月	(大 巻)	孝仁
運萬 莊太	(二日町)	秀次
漆田 愛美	(二日町)	英世
釜道 純弥	(平 沢)	敬一
有馬 希	(北日詰)	宏
藤田 愛	(二日町)	政幸
藤沼 榮奈	(西長岡)	修
森田亜季穂	(大 巻)	昭浩
引木 翔	(北日詰)	英美
山影 彩香	(日 詰)	賢司
高橋 美帆	(片 寄)	弘幸
高橋 隆太	(土 館)	一徳
藤原慎太郎	(日 詰)	真
小田中博之	(北日詰)	一清
菊池めぐみ	(遠野市)	要藏

おくやみ 申上げます



菊池 幸吉（南伝法寺）	啓一
草階のり子（秋田県）	謹
小林 良光（高水寺）	良一
山崎 未来（江刺市）	幸二
竹原 敏彦（升沢）	敏夫
今淵 純子（盛岡市）	隆文

おくやみ
申上げます



氏 名	年 齢（住 所）	届出人
佐藤 アキ	88（平沢）	君男
齊藤 ミサ	86（桜町）	功
武田 ミツ	76（上松本）	守司
工藤 ハル	90（星山）	昌一
田畑 忠男	83（大巻）	昭
佐藤キサノ	68（平沢）	正志
松坂テル子	66（佐比内）	新吉
齊藤キミ子	52（平沢）	成一
久保ミトリ	90（中島）	松本幸夫
西田 忠	68（升沢）	忠夫
阿部ヒデ子	69（片寄）	久八
吉田 隆子	69（陣ヶ岡）	助治
畠山 久雄	71（片寄）	正充
羽生 良一	55（片寄）	義晴
咲山タカノ	89（土館）	久夫
高橋 次男	70（北日詰）	ミチ
熊谷 賢一	84（犬淵）	誠一
阿部タキヨ	82（北田）	久一
梅澤 ヨシ	87（赤沢）	啓子

陣ガ丘歴史公園にて――

伝えゆくものについて思う

「歴史は単なる過去でも単なる永遠でもない。むしろわれわれの現在を支えるものである」――陣ガ丘歴史公園に立ったとき、矢内原伊作著『小林秀雄論』の一文を思い出した。

一〇六二年九月十五日、安倍員任討伐のために宿営したこの地で源軍の旗が月光に輝き、よき前ぶれとして築かれた月の輪形と日の輪形。その言い伝えから始まるこの史跡は、私たちに何を伝え、何を教えるようとしているのだろう。

答えの出ないままに、蜂神社に駐車した車の方に歩き出した。手入れされた杉林を登ってゆくと、き、呼び止められたような気がして振り向いた。

そう、答えが出なければそれはそれでいい。わが子が、そしてそのまた子どもがいつか答えを出さずかもしれないから。それまではただ守り続けよう――そう静かに思った。



二十一世紀のための 新・紫波風土記

町長メッセージ

都市と農村交流の重要性

農村生活者は都会へあこがれ、都市生活者はいなか・ふる里を欲する。これが都市と農村の交流事業の原点だと考えます。当町で進めている七カ所の産直事業では年間七十万人が訪れています。またラ・フランス温泉館では今年も三十五万人以上の利用が予想されています。本年新しい試みとして十月十三日から三日間、東京都練馬区光が丘郵便局を会場に「ヤッホーいわて」を開催します。これは紫波町・大迫町・宮守村・三陸町が連携して行う物産フェアで、東京県人会で作っているふる里会や紫波郵便局のご協力で実現する運びとなりました。光が丘は四万人の人が住む団地で盛況が予想され、そこで展開される交流が一過性のものでなく、今後都市と農村交流の礎となることと期待しています。

またフルーツパーク構想はふれあい型、体験型農業を立ち上げ、楽しい農業を実現し、農業後継者の確保と女性の農業への理解を得ることで、次代への紫波町農業発展に期することがねらいです。さらには、こみのボイ捨て禁止、資源循環型社会の構築を全町で取り組み、「エコロジータウンの実現」、環境にやさしいクリーンなまち、そして「都市と農村交流で元気のあるまち」を全国に発信することが使命と考えています。

(藤原 孝)

編集後記

「去年紛失した平太くんカードが商工会を通して手元に戻って来ました。あきらめていたのでうれしくて...そしてお礼を言いたくて...」西長岡の稲垣朋子さんから紫波ネット宛に手紙が届きました。稲垣さんと同様、優しさについて考えることの多い秋になりました。たくさんの人と接し、数々の真心に触れました。おいしいお茶やお菓子、イチジクの蜂蜜煮も...。ありがとうございます。町の人の優しさ感謝し、子供たちに伝え、町の人に情報としてお返ししていきたいと思います。

(佐藤)

【皆さんからのご意見・情報をお待ちしています】情報は原則としてファックスか郵送でお願いします。

〒028-3390 岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1 ファックス/672-2311 紫波町「紫波ネット」情報係まで

【皆さんの「役に立つ」「知りたい」情報満載の紫波町ホームページがリニューアルしました】

アドレス <http://www.town.shiwa.iwate.jp>